



バーゼルワールド2012

パテック フィリップ ジュネーブ
2012年3月

パテック フィリップ 5940 モデル：超薄型永久カレンダー 受け継がれる偉大なクラシックの伝統

超薄型自動巻永久カレンダー・モデルは、長年にわたりパテック フィリップの最も追い求められるグランド・コンプリケーションとしての地位を確立している。ジュネーブのマニュファクチュール、パテック フィリップは、永久カレンダーの伝統にふさわしいフォルムのニューモデルを発表する。18金イエローゴールドのクッション型5940モデルである。

グランド・コンプリケーションは永久カレンダー、トゥールビヨン、ミニット・リピーター、スプリット秒針クロノグラフを含むが、中でも永久カレンダーは毎日の生活において最も有用な機能といえよう。なぜなら月末の日付を自動的に判別し、日付調整を不要にするからである。十九世紀において、永久カレンダーがパテック フィリップ懐中時計の追い求められるコンプリケーション機能であったことはよく理解できる。後に腕時計の時代がやってくると、パテック フィリップは複雑な永久カレンダー機構を小型化し、今日よりもさらにサイズが小さかった腕時計に搭載することに成功した最初のマニュファクチュールであった。

1925年、パテック フィリップは永久カレンダーを搭載した世界初の腕時計を発表した。タイムピースNo. 97,975はセンターに時・分針、9時位置にスモールセコンド、3時位置にムーンフェイズ表示を備えていた。日付はセンターの日付表示針がアナログ表示、曜日は12時位置、月は6時位置にそれぞれ指針表示した。今日一般的に見られる閏年サイクル表示はなかった。カレンダーは瞬時日送り式であり、これはきわめて高度な技術を必要とした。

クッション型の超薄型永久カレンダー

当時はアール・デコ様式がヨーロッパに定着しつつあった。その明確で創造的なスタイルは美術、建築、家具、および広く一般の工業デザインに影響を与え、今日に至ってもその栄光はおとろえていない。パテック フィリップもアール・デコ様式を取り入れたが、それは単なる流行としてではなく、確固とした哲学としてであった。今日のパテック フィリップ・ゴンドーロ・コレクションにそれが生きている。ゴンドーロ・コレクションは、スクエア型、レクタングラー型、三角型、菱形、トノー型、クッション型など、ラウンド型以外のフォルムのタイムピース・コレクションである。誕生して間もない腕時計は、手首に着用して人々の目につくことから、デザインアクセサリーの代表となり、それは今日まで続いている。パテック フィリップのクッション型タイムピースは常に大きな人気を博していた。そのいくつかは今日、パテック フィリップ・ミュージアムで見ることができる。もちろんクラシックなラウンド型のカラトラバ、ユニークなゴールド・エリプス、独自性あふれ、スポーツ・エレガンスを代表するノーチラスも、各々がパテック フィリップの時を超越した美しさを代表するコレクションである。

クッション型ケースは2010年、ステンレススチールの超薄型シングルプッシュボタン・スプリット秒針クロノグラフ5950モデルの登場によって脚光を浴びた。そして今日、新しい超薄型永久カレンダー5940モデルが発表され、その地位はさらに強化されることになる。ケースサイズ37×44.6mmの5940モデルは、厚さ8.6mmというスリムさから、コンテンポラリーでしかも男性的な魅力を備えている。ケースは、パテック フィリップ工房で18金イエローゴールドの素材から高圧プレスによる冷間鍛造という伝統的な製法により製造される。その後多数の切削工程を経たケースには、完全な手作業によるミラー・ポリッシュ仕上げが施される。ケース本体の優美な曲線はラグとシームレスに一体となっている。5940モデルはスナップオン式のサファイヤクリスタル・バックが装着され、これを通してムーブメントの精



《報道資料》 ページ 2

緻な仕上がりを鑑賞することができる。さらにソリッド・イエローゴールドのケースバックが付属しており、取り替えが可能である。

時を超越した伝説的キャリバー240 Q

搭載されたキャリバー240 Qムーブメントは、パテック フィリップのコンプリケーション工房で製作されるマスターピースである。総部品数は275個、自動巻にもかかわらず厚さはわずか3.88 mmに過ぎない。1977年に発表された基本キャリバー240は22金偏心マイクロローターを備え、2.53 mmの厚さであるから、永久カレンダー機構に残されたスペースは、わずかに1.35 mmである。永久カレンダーは、4年（1461日）で1回転する歯車を有し、各月末の31、30、28日、および閏年の29日を自動的に判別する。そのため、グレゴリア暦で例外的に閏年とならない西暦2100年までは調整の必要がない。永久カレンダーのすべての表示は、ケース側面に設けられた4個の調整ボタンにより容易に、迅速に調整できる。ムーンフェイズは122年45日で1日の誤差（一日当たり0.002%）しか生じない、きわめて高精度なものである。また日差は、パテック フィリップ・シール認定規準に準拠して-3~+2秒（ケース径20 mm以上のタイムピースに適用）に抑えられている。もちろんこの規準は、C.O.S.C.（スイス公式クロノメーター試験）のそれを凌駕している。

タイムレスでエレガントな文字盤

この驚異的な計時精度を強調する文字盤は、あらゆる点でタイムレスかつエレガントである。文字盤カラーは、18金イエローゴールド・ケースに完璧にマッチするクリーム・グレインであり、ベゼル内縁を忠実に縁取る、ブラックの転写シュマン・ド・フェール（ルール）型分スケールがコントラストを与えている。ゴールド植字ブreg数字とスリムなリーフ型ゴールド時・分針が時刻を表示する。永久カレンダーは3つのサブダイヤルに指針表示される。9時位置には曜日と24時間表示、3時位置には月と閏年サイクル、6時位置には日付とムーンフェイズが配置されている。パテック フィリップのすべてのタイムピースを特徴づける最高の視認性とハーモニーがここにも見出される。

新しいクッション型5940モデルは、今日パテック フィリップ・ミュージアムで見出すことのできる1920~1930年代のアル・デコ様式のモデル同様、時を超越した美しさにあふれている。このタイムピースはハンドステッチのマット・チョコレートブラウンのアリゲーター・バンドを装着し、18金イエローゴールドのピンバックルを備えている。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター 大塚和泉

電話：03-5209-8018（直通）

FAX：03-3256-7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電話：03-3255-8109

《パテック フィリップ ホームページ》





技術仕様

パテック フィリップ 5940 モデル：永久カレンダー搭載18金イエローゴールド紳士用タイムピース

ムーブメント	キャリバー 240 Q 超薄型自動巻ムーブメント、永久カレンダー（曜日、日付、月名、閏年サイクルを指針表示）、ムーンフェイズ、24時間時刻表示
直径：	27.50 mm
厚さ：	3.88 mm
部品総数：	275個
石数：	27石
連続駆動可能時間：	48時間
巻上げローター：	単方向巻上げ式22金マイクロローター
テンプ：	ジャイロマックス
振動数：	21,600 振動（片道）／時（3 Hz）
髭ゼンマイ：	平髭式
セッティング機能：	リュウズの2位置 ・引き出した位置： 時刻合わせ ・押し込んだ位置： ゼンマイの巻き上げ
表示：	・時針・分針（センター） ・曜日と24時間表示（9時位置） ・月と閏年サイクル（3時位置） ・日付とムーンフェイズ（6時位置）
調整ボタン：	・曜日調整（9時位置） ・日付調整（11～12時位置） ・月調整（12～1時位置） ・ムーンフェイズ調整（6時位置） 黒檀・18金イエローゴールド製ファンクション・ペンスルが付属
認定印：	パテック フィリップ・シール





外 装

- ケース： クッション型18金イエローゴールド、ドーム形サファイヤクリスタル
スナップオン式サファイヤクリスタル・バックと18金ソリッド・イエローゴールドの
ケースバックが共に付属
3気圧防水
- ケース寸法： 縦×横： 37×44.6 mm
総 厚： 9.25 mm
厚 さ： 8.5 mm (ケースバック～サファイヤクリスタル)
ラグ間隔： 21 mm
- 文字盤： クリーム・グレイン文字盤

9個の18金イエローゴールド植字ブレゲ数字

18金イエローゴールド・リーフ型時・分針

18金イエローゴールド曜日、月、日付表示針

ブルースチール24時間表示、閏年サイクル表示針
- 革バンド： ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、カラーはマット・
チョコレートブラウン

18金イエローゴールド・ピンバックル付

